

会 議 録		
会議名	第 44 回日野市地域公共交通会議	
日時	令和 5 年 1 月 26 日（木）10：00 から 11：15 まで	
会場	日野市役所本庁舎 505 会議室 / Web 会議（Zoom）	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 川鍋課長、村林係長、伴登主任、大貫主事
議題	<p>議事</p> <p>(1) 令和 4 年度補正予算について（協議事項）</p> <p>(2) 令和 5 年度予算について（協議事項）</p> <p>(3) 令和 5 年度事業計画について（協議事項）</p> <p>(4) 令和 4 年度利用状況について（報告事項）</p> <p>(5) ワゴンタクシー「東豊田 3 丁目」停留所追加及び経路変更について（協議事項）</p> <p>(6) 高幡不動駅南口のバス停新設について（報告事項）</p> <p>(7) ミニバス南平路線のバス停新設の検討について（報告事項）</p> <p>(8) デマンド型交通及び住民ボランティア型交通の近隣市の導入状況について（報告事項）</p>	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	1 名	
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ（会長）</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 令和 4 年度補正予算について（協議事項）</p> <p>事務局から説明（資料 1）</p> <p><議決></p> <p>会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度補正予算について異議ないか。 《異議なし》 ・令和 4 年度補正予算について承認した。 <p>(2) 令和 5 年度予算について（協議事項）</p> <p>事務局から説明（資料 2）</p> <p><議決></p> <p>会長</p>		

- ・令和5年度予算について異議ないか。

《異議なし》

- ・令和5年度予算について承認した。

(3) 令和5年度事業計画について（協議事項）

事務局から説明（資料3）

<議決>

会長

- ・令和5年度事業計画について異議ないか。

《異議なし》

- ・令和5年度事業計画について承認した。

(4) 令和4年度利用状況について（報告事項）

事務局から説明（資料3）

委員

ミニバスは回復傾向にあるが、ワゴンタクシーは去年並みということ。

来年度の事業計画の中で、ワゴンタクシーの土日祝日実証実験の再検討とあるが、次の交通会議のときには1年間の利用者数が出るため、その数字に基づいて土日祝日の再開を検討するかと思う。

前回、実証実験を実施した際に、土日祝日の数値が芳しくなかったことは結果に出ているので、コロナが収束したからといって、利用者数が大きく増えることはありえないのかなというところがある。多少増えたからといって、早々に再開するという考え方はちょっと違うと思う。費用対効果を考えて、実証実験の再開については慎重に判断した方が良い。意見として受け取っていただければ。

⇒後ほど説明するが、事業者である南観光さんのご配慮をいただき停留場ののぼり旗を変えて、乗り場を分かりやすくするなどの利用促進を今後も実施していき、委員からご意見をいただいた件も含めて再度この交通会議の場で検討できればと思う。

以前に委員の方から、今の状態で続けても同じ結果になるので、何か対応した上で再開するかどうかを含めて、検討しなければならないと意見をいただいている。その辺りも含めて、然るべきときにお諮りしたいと思うので、利用促進を続けながら状況を見ていきたいと思う。（事務局回答）

(5) ワゴンタクシー「東豊田3丁目」停留所追加及び経路変更について（協議事項）

事務局から説明（資料3）

委員

スライド16で1日あたり1.22人以上、年間あたり297人以上とのことで、この目標を2

年間クリアできたら、基本的に継続していくことかと思うが、仮にこれをクリアできなかった場合、あくまでも実証実験なので、本格的な移行はしないという判断でよろしいか。

⇒実証実験というより経路の追加とし、区間内の目標値については、もしクリアできなかった場合は、時刻の変更や利用促進を経て改善に向けて検討していきたいと考えている。

このルートは、以前から踏切を渡るため課題があると認識しており、なかなか導入できずにいた。今回一步踏み出して実施するため、色々課題が出てくるかと思う。そこを適宜、運行事業者さんにご協力いただき、情報交換をしながら運行し、何か問題等、課題があれば、交通会議にてご提案しご意見いただければと思う。

今回の目標値については、何か目標の数値がなければということで参考にお伝えした。下回ったらすぐ辞めるということではなく、要望があり実施しているので、利用促進から改めてやっていくことから始めたいと考えている。何かあれば、こちらの交通会議に諮っていききたいと思うのでご理解をよろしくお願ひしたい。(事務局回答)

委員

ワゴントクシーは、なかなか改善や改良ができなかったもので、思い切った形でできるようになったなと思った。日野市民のために利用促進になるのであれば、ぜひとも、これがうまくいくといいなという意見として受け取っていただければ。

<議決>

会長

- ・ワゴントクシー「東豊田3丁目」停留所追加及び経路変更について異議ないか。
《異議なし》
- ・ワゴントクシー「東豊田3丁目」停留所追加及び経路変更について承認した。

(6) 高幡不動駅南口のバス停新設について (報告事項)

事務局から説明 (資料3)

委員

前回も確認をしたが、大学生の方が長い列を連ねることに関して具体的にどういう対策を考えているのか、改めて確認させていただければと思う。

⇒詳細については、運行会社の京王バスさんと調整しており、原則は今までと同じ対応になると思うが、詳細は決まっていない状況である。次回の交通会議などで、対応についてご報告させていただければと思う。(事務局回答)

(7) ミニバス南平路線のバス停新設の検討について (報告事項)

事務局から説明 (資料3)

意見・質問なし

(8) デマンド型交通及び住民ボランティア型交通の近隣市の導入状況について（報告事項）
事務局から説明（資料3）

委員

先ほどご案内いただいた今回のデマンド型交通導入にあたっての課題で、既存交通との共存とあったが、私も交通事業者もその点について危惧している。他の区ではオンデマンド交通の検討の中で、既存交通事業者との大きな摩擦が生まれている状況である。

交通不便地域の解消ということでは必要であるが、その中で事業以前の選定や時間帯、料金などの調整をお願いしたいと思う。

⇒区部のデマンド交通導入での摩擦の件については、我々も把握しているところ。その反省点等を踏まえて、地元の交通事業者とは丁寧に調整しながら進めていきたいと思っているので、よろしく願いいたします。（事務局回答）

委員

あきる野市の「チョイソコ」に若干関わっているため、その点を踏まえながら少し意見させていただきたい。あきる野市の「チョイソコ」は、実証実験期間1年ということになっているが、比較的順調に利用者を伸ばしているため、もう1年延長という方向で進めている。

いずれにしても実証実験であるため、最初は対象地域を公共交通優先検討区域に絞って利用者を設定していたが、理解を得られた箇所には1回拡大し、もう1回別の優先検討区域に拡大できるか、検討を進めているところである。

実証実験の形でまずはやっていくことで、既存交通との共存等の問題を含めて、重要な検討ができると思う。やはり実証実験として実施する以上は、利用状況、問題点、解決方法の検討等を十分に検証して、対応していく必要がある。その辺はしっかりとシステム等の体制を整えていく必要があるため、事業者の方には、協力して対応していただければ、と思う。問題として提起された既存交通との共存は、あきる野市でもデマンド交通に限らず問題になっている。ただ、既存交通との共存を前面に押し出して、部分的に利用者の利便性が損なわれた結果、使い勝手が悪く利用されなかった、という話もある。

しかし、反対に既存交通の利益を損なってその結果事業者が撤退すれば、利用者の不利益にも関わってくる。既存交通との共存と利用者の利便性について、しっかり調整をしながら検討することは、非常に重要だと思っている。

あきる野市の場合には、現地のタクシー会社さんが、地元の事業者とうまく協力するような形で運行していった。共存や、協力的に取り組んでいただけたところに入ってもらったことは重要であり、地元の事業者にご理解いただきながら、可能なところには関与していただくことも重要だと考えている。

以前は、デマンド交通はかなり利便性が悪く、導入してもあまり利用されないで終わったということが多かった。最近は配車や予約など、ICTを活用するシステムがでてきている。そういったところで、より利用者の利便性を高めるようなやり方で、デマンド交通を導入していけると今後の市全体の公共交通を考えていく上で重要なキーになると考えられる。ぜひ、その辺を含めて今後検討していただければと思う。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。

実証実験から始めて、課題が色々出てくると思うので、随時、交通会議で諮らせていただきたい。また、検証できるようなデータを収集することと、日野市の場合はミニバス、ワゴンタクシー、路線バスやタクシーなど、市民の足の確保について皆さんでご尽力いただいてきた歴史があるため、利用者と事業者の両方の目線で、利用者と公共交通を担っている方々のご理解のもと進めていきたいというのは、事務局として心から思っている。丁寧な対応で進めていきたいと考えている。

また、29 30 31のスライドについては、あくまでも視察など事例の検証をした上で、今の時点での事務局の方向性のご提案であるため、エリアや料金、期間についても、忌憚ない意見をいただければと思う。(事務局回答)

会長

既存事業者との共存と利用する方々の利便性という中で、市内で運行されている事業者のお二方、何かございましたら、一言いただきたい。

委員

立場上、色々な自治体の公共交通の会議に出席しているが、このようなデマンド型交通の検討は、どの自治体でも大なり小なり取り組んでおり、これからの社会で求められてくる、と認識している。

弊社でもデマンド交通との関わり方などを議論検討しているところである。

日野市においても、南エリアを中心に交通空白地域を解消したい、ということは理解認識しているので、お力添えができるように考えていきたいと思う。既存事業者との共存や、実際にあきる野市さん等々に視察に行かれるなど、非常に精力的かつ幅広く検討されているので、弊社でも日野市さんのお考えに少しでもお力添えできるようにしていきたい。

委員

デマンド交通については、多岐に全国で実施しているところではあるが、その中では成功例もあれば失敗例もある。日野市さんと既存の運行事業者にとって良いバランスがとることができれば、弊社でも日野市さんへ良い協力ができると思う。

その辺り、まずはしっかりとした土台をつくっていかなければならないと思うので、よろしくお願いしたい。

会長

地域の交通事業者の方々としっかり調整していきながら、協力していただけるよう検討を進めていきたいと思う。

委員

スライド 27 のチョイソコの運行主体だが、S&D 多摩ホールディングスさん自体は、トヨタ系のディーラーであり、システム会社ではない。チョイソコというブランドはアイシンさん

でトヨタ系の部品メーカーが開発したシステムで運行しているはずなので、運行主体の記載が正しくないと思う。

システム自体はアイシンさんのシステムで、S&D 多摩ホールディングスさん自体は恐らく車両の提供等をしていると思う。確認していただければ。

⇒改めて確認させていただく。ご指摘ありがとうございます。（事務局回答）

委員

車いすユーザーから一言述べさせていただければと思う。

我々、車いすユーザーはどうしても移動困難者になるが、既存のバス会社やタクシー会社の皆様のご協力によって、今の我々の安全な移動手段を確保していただいている。本当に感謝している。

今回のデマンド交通について、交通空白地域において利用者の属性に制限はなしという形だが、どうしても車いすユーザーが使えるのかなという不安がある。

基本的には既存の交通事業者の皆さんに、お世話になりながら移動するわけだが、どんな方でも移動ができるということも視点に考えていただけるとありがたいと思う。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。

この方向性で承認されれば、今後ご意見いただいたような細かいところも含めて検討させていただければ、と思っている。

委員からあったように、今現在でもシステムが改良されているので、システムを導入するか、というのも既存のタクシー事業者さんやバス事業者さんにも互いでプラスになるような形を検討していきたい。交通事業者さんの影響がないとは言えないが、お互いで将来共存できるような形、全ての方に利用できるような形を事務局としても日野市としても模索していきたいと思うので、そちらの方向で協議させていただければと思う。（事務局回答）

(9) その他（報告事項）

事務局から説明（資料3）

委員

スライド 35 のシェアサイクルだが、こういった新しいパーソナルモビリティは、当然日野市でも広がっていくのだろうな、とは認識している。我々道路で事業を営わせていただいている者からのお願いだが、交通安全の啓蒙を是非お願いしたい。

自転車が増えることになると思うので、ご利用の方に交通ルールをきちんと守っていただくということを、シェアサイクルに限ることではないが、日野市さんでも言ういただければ、と思う。

⇒今、導入に向けて検討を始めているなかで確認はしているが、改めて交通会議でもご意見をいただいたということで、事業者と調整させていただく。（事務局回答）

会長

交通安全の問題が出たため、交通管理者から一言いただけるか。

委員

シェアサイクルの安全利用について、自転車については社会問題化しているため、地域職域でキャンペーンを個々に行っている。その折に市民の方に周知していきたい。

全体を通しての質問

委員

議事 7「ミニバス南平路線のバス停新設の検討について」だが、道路ができることによって既存ルートから変わるということか。

⇒東京都さんの方で整備をして拡幅工事をしていただいている。整備ができていないところは、停留所があると追い越しの際に隣の車線にでてしまう状況であったため、安全上、停留所の設置は拡幅後であれば、ということで前々から協議をさせていただいていた。今回、拡幅ができたところから随時設置を検討していきたい、ということを報告させていただいている。経路等を変更する予定はない。(事務局回答)

(事務局)

ありがとうございました。

次回の交通会議は、7月頃を予定させて頂いております。以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。